第39回総会・懇親会の開催

総務部会　高林幹雄

北海道ふるさと会連合会の第39回定時総会・懇親会が4月23日㈯に東京・神保町の日本教育会館「喜山倶楽部」で開催され、各ふるさと会、企業会員、来賓を合わせて104名が出席。定刻午前11時に三村副会長が開会を宣言し、高橋照美会長より挨拶があり、堀口事務局長が定足数を確認し、総会議長に杉村豊相談役を選出し、議案の審議に入った。

平成27年度の事業報告と収支決算報告があり、池田俊一監事から「適正」との監査報告があり、第1号議案、第2号議案について質疑応答がなされた。「歌旅座」の事業支援について、特定団体の支援は不公平ではないかとの質問があったが、高橋守事業部会長から北海道出身のアーテイストを応援する意味で今回支援することにしたものであるとの説明があり、ご理解をいただいた。また、事務局支出の通信費の中に「ネット関連」とあるが、連合会のホームページをもっと充実させるべきとの発言があった。堀口事務局長より「役員一覧」「会報」「産直フェアのお知らせ」などは適宜、更新しているが人手不足のため内容が十分でないのが実情であり、今後は各ふるさと会との連携を拡充させることが課題であるとの説明がなされた。議長が議案を議場に諮った結果、賛成多数で両議案は承認された。

続いて第4号議案（平成28年度事業計画案）と第5号議案（平成28年度収支予算案）の一括審議を行った。質疑応答の中で事務局予算に関連して年会費値上げに関する質問が出たため、高橋照美会長よりその趣旨説明がなされた。

①当連合会が健全な活動を行うためには事務局経費を会員から徴収する年会費の範囲内で賄うのが基本である

②値上げは昨年の総会で見送られた経緯があり、事務局は昨年度59万4000円の赤字を計上しており、平成29年度から会費を1万5000円に値上げする必要がある

③次期繰越金が301万6千36円となっているが、連合会活動を行う過程で収支が変動する事態に対応できるよう備えをしておく必要がある

以上の趣旨説明があり、第4号、第5号、第6号議案の一括採決の結果、出席議決件数76個に対し、賛成が60個（委任状17個を含む）となり、過半数の賛成を得て可決承認された。

第7号議案（役員補充選出）では高橋照美会長より堀口副会長・事務局長が一身上の都合により退任することになり、後任に奥山範夫理事（東京恵庭ふるさと会会長）を選任したい旨の提案があり、満場一致で承認された。

引続き、会場を移して懇親会が開かれた。冒頭、高橋会長より挨拶があり、来賓として岡田恭一北海道東京事務所所長からご挨拶を頂いた。

企業会員3社も紹介され、八木澤和夫AIRDO営業部主査の乾杯の音頭で会が始まり、新会員として「東京当麻会　山根清会長」「浦臼会　尾田武男会長」「雨竜会大谷頼寛会長」が紹介された。

また、新任の各会長が自発的に壇上に立ち、自ふるさとのPRや抱負を述べるなど、大変な賑わいを見せ、最後は三村副会長の三本締めで閉会となった。

39回総会にて答弁に立つ会長

総会後の懇親会にて

親睦旅行記

事業部会　西島秀雄

今年も恒例の旅行会を二月二一日㈰～二二日の日程で、福島県須賀川市の「芹沢温泉」となりました。前日の雨も上がり東京八重洲口より男性三十名女性十三名の参加を与てホテル送迎のバス二台に分乗し、前日に買い出して置いた飲み物、ツマミ等を二台のバスに分配、幸いにも毎年サッポロビールさんを始め各会員の皆さんの差し入れが有り、大変助かって居ます。さっそく車内で一杯が始まりました。出発進行！バスは首都高から東北道へ。途中佐野インターで昼食、名物のラーメンを食べ三時三十分頃ホテルに到着。宴会までの間、ひと風呂を浴びて又一杯、泉質は快晴の湯と云うぐらい肌につるつるとやさしい湯でした。宴会は高橋会長の乾杯で始まり早々にカラオケ、多くの歌手が出演お酒も進み幹事もハラハラ、途中に伊達会の会長さんのハーモニカ演奏も入り盛り上げてもらいました。二次会は幹事部屋で多くの人達が集まり早朝まで懇親を深めました。翌日は朝食を済ませ九時にホテルを出発、十五分ほどで国の名勝に指定されている牡丹園を見学、あいにく牡丹の方は時期が早く残念でしたが、我が女性会員はいずれも「立てば芍薬座れば牡丹、歩く姿は百合の花」でした。ここでハプニング有り、次の目的地へ出発するも先頭のバスが突如Uターン、何故か？実は岩内会のS氏が乗っていなかった！ヤレヤレでした。須賀川のJAにて直売品を土産に購入し東京へ。十五時三十分無事到着。最近はバス等の事故も多く何かと心配していましたが幹事もホッ、とした瞬間でした。次回の再会を確認し、帰路に着きました。参加して頂いた会員の皆さん、ありがとうございました。